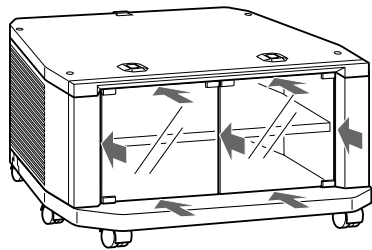


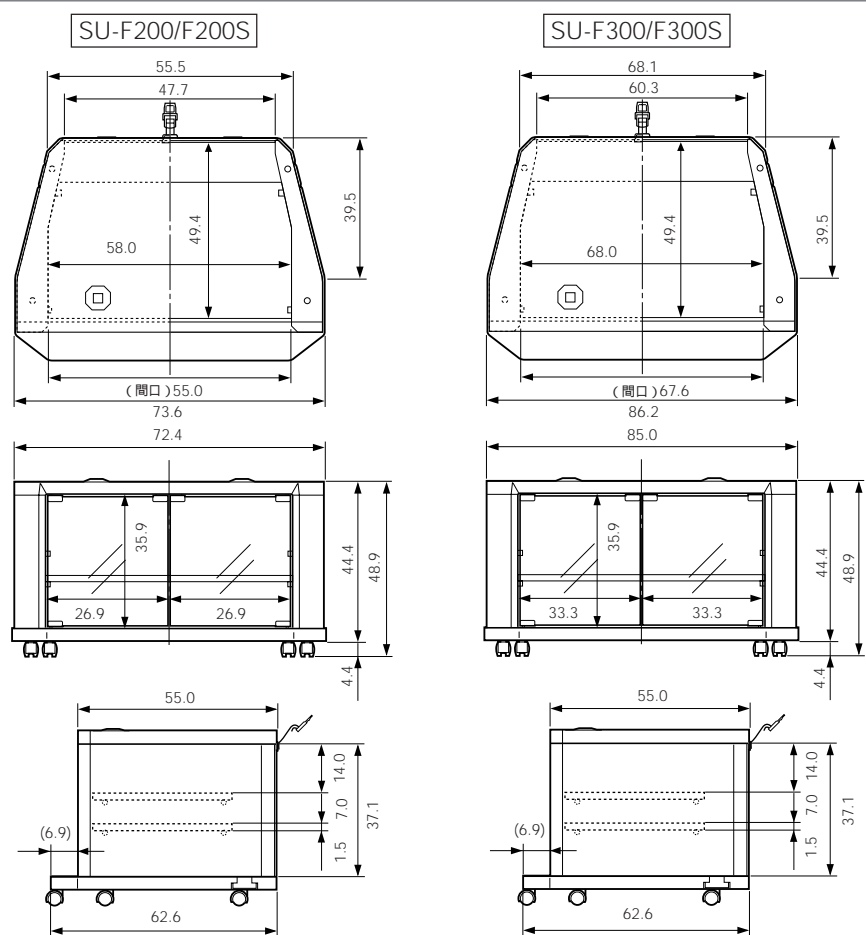
- 組み立てるときや、ガラス扉の開閉時に、扉の隙間(図の矢印の部分)に指などはさまないよう注意してください。
- 設置場所について
設置場所によってはスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。
堅くて平坦な床面への設置
畳の上に置く場合は板など堅い物を敷く
直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
高温多湿の場所や屋外に置かない



- テレビを載せたまま移動するときは、テレビの落下を防ぐためスタンド部分を押すか、スタンドごと持ち上げるようにして移動してください。
- 加熱した鍋、湯沸し等、熱いものを直接スタンドに置かないでください。熱により変色、変形することがあります。
- 美しい状態でお使いいただくためときどき柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5~6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

主な仕様

単位: cm
質量: SU-F200/F200S: 17.5kg
SU-F300/F300S: 19.0kg



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/ お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ☎0570-00-3311 (全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHS 03-5448-3311 (ナビダイヤルが利用できない場合はこちらをご利用ください)
● FAX 0466-31-2595 受付時間: 月~金 9:00~20:00 土・日・祝日 9:00~17:00

eco info この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

テレビスタンド

SU-F200/F300
SU-F200S/F300S

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

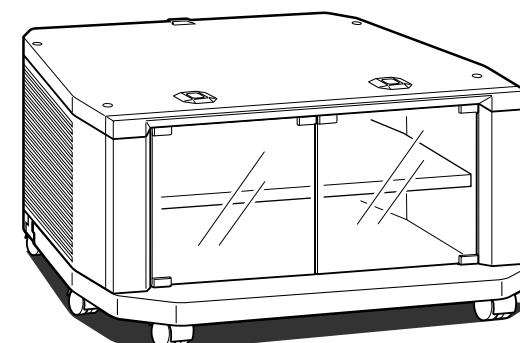
警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

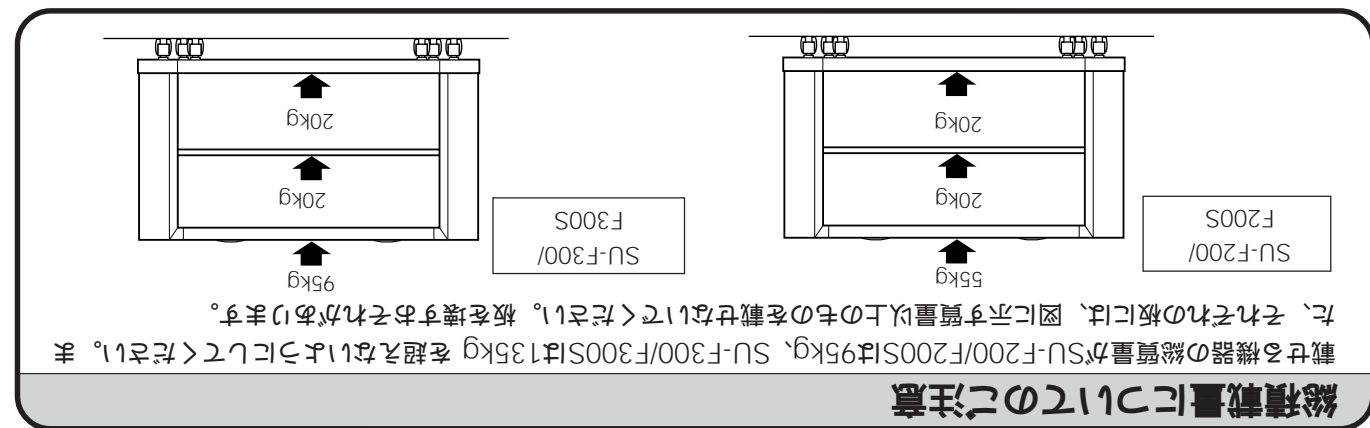
このテレビスタンドはソニーのカラーテレビの上に載せ、棚板にはビデオデッキやビデオディスクプレーヤーなどを収納するように設計されています。

対応テレビ

テレビスタンド	テレビ
SU-F200	KV-28DR1 KV-28HDF7 KV-29DR1
SU-F200S	KV-28DRX7 KV-29DS1
SU-F300	KV-32DR1 KV-32HDF9 KV-34DR1 KV-36HDF9
SU-F300S	KV-32DRX7 KV-36DRX7



Sony Corporation © 2000 Printed in Japan



扉の隙間に指を入れない
ガラス製の扉の隙間に指などを入れると、はさまってガラスの縁で指が切れたり、無理に抜こうとしてガラスが割れたりしてけがの原因になります。
また、お子様が扉を開閉するときや、テレビスタンドの周辺で遊んでいるときに誤って手指はさまないと十分な注意してください。

テレビを固定する
固定しないと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

載せる機器の総質量は、指定の質量を超えないようにする
指定の質量を超えると、板が割れたり、ぼんやりして、テレビ等を壊す恐れがあります。
組み立ては、組み立て手順に従ってしっかりと組み立てる
ネジがゆるんでいると、スタンドが傾いたり、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。特に裏板はスタンドの歪み防止のため必ず取り付けてください。

このスタンドは指定のテレビ専用です
指定外のテレビや重い物を載せると、すべって落ちたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。

踏み台にしない
倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となる場合があります。

注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ガラス扉に強い衝撃を与えない
スタンドには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れると、破片が飛び散りけがの原因となりますので下記のことをお守りください。
• 物をぶつける、扉を開けたままぶつかるなど、強い衝撃を与えない。
• 鋭利な物で傷をつけたリ、ガラス面を突いたりしない。

注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

テレビや収納機器のコードをはさまないようにする
• テレビなどをスタンドに載せるとき、電源コードをはさまないようにする。
• スタンドを動かすとき、キヤスターで電源コードを踏まないようにする。
コードに傷がついて火災や感電の原因となります。

スタンドにテレビを載せた状態で、テレビにぶら下がらない
テレビが転倒して、大けが、死亡などの原因となります。

警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒により死亡や大けがの原因となります。
火災 感電

警告表示の意味
注意を促す記号
行為を禁止する記号

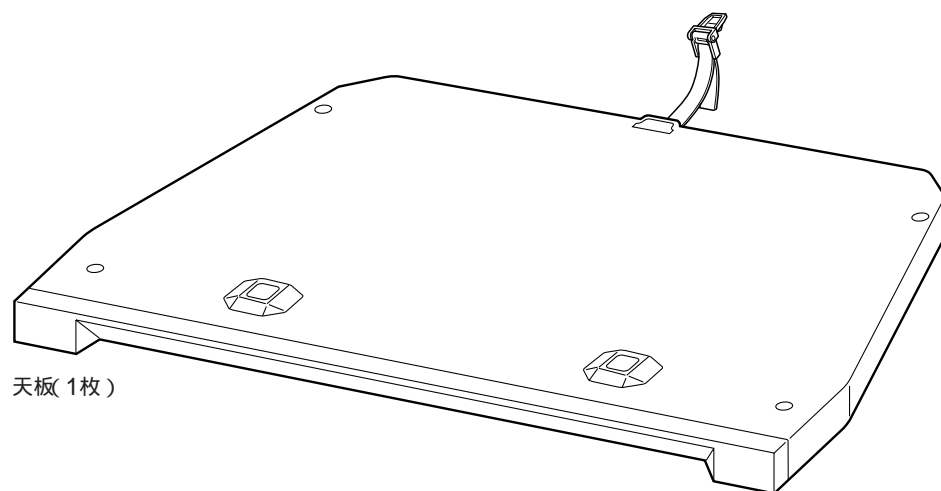
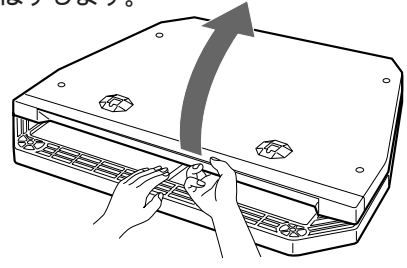
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがな人身事故の原因となります。
この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

警告 安全のために

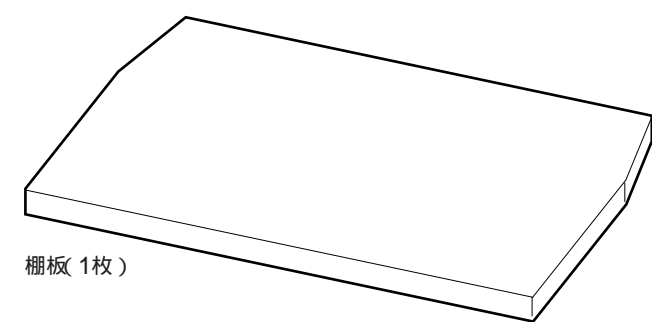
ソニー製品は安全に十分に配慮して設計されています。
また、しかしまちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒などにより人身事故になることがあります。
危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。
取扱説明書では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

211

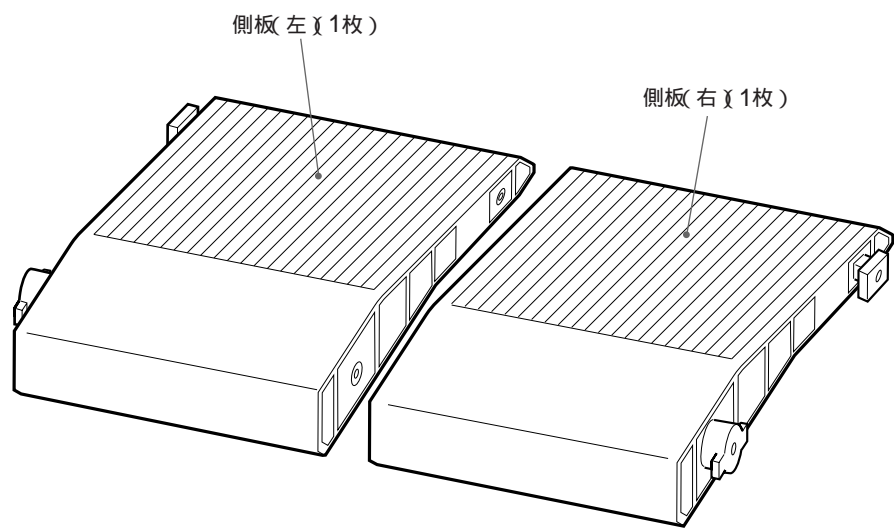
底板を押さえながら、天板を上を持ち上げてはずします。



天板 (1枚)

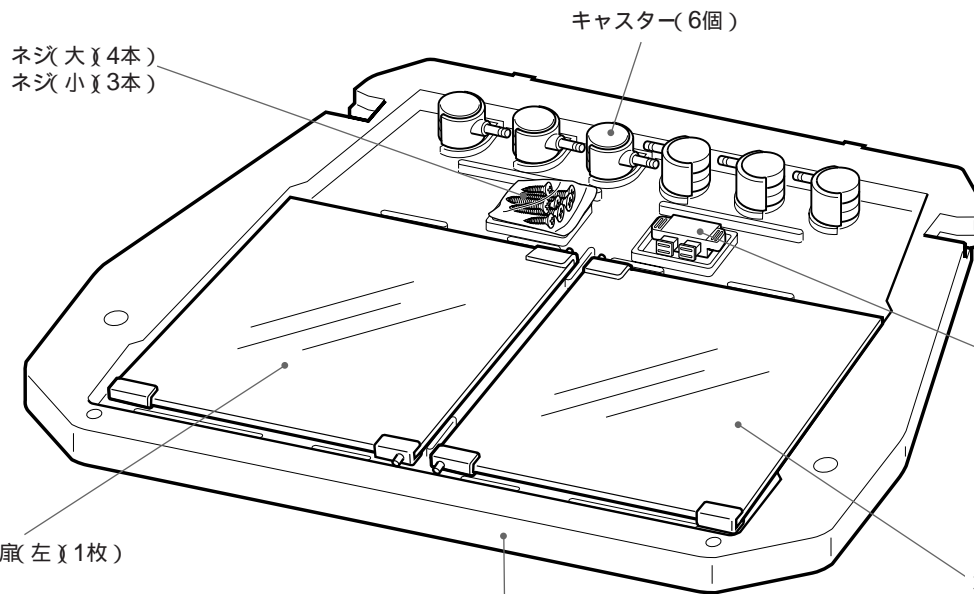


棚板 (1枚)



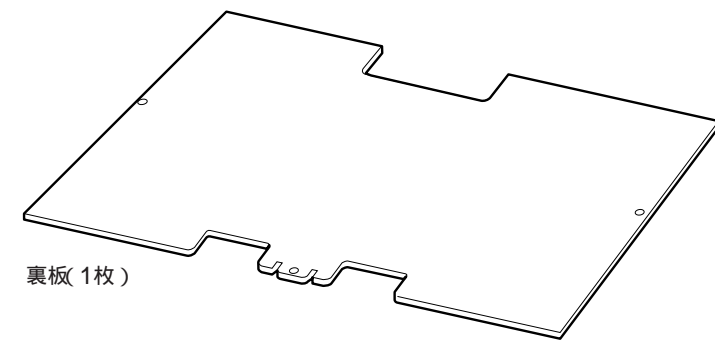
側板 左 (1枚)

側板 右 (1枚)



ネジ 大 (4本)
ネジ 小 (3本)

キャスター (6個)



裏板 (1枚)

プッシュマグネット (1個)

ガラス扉 左 (1枚)

底板 (1枚)

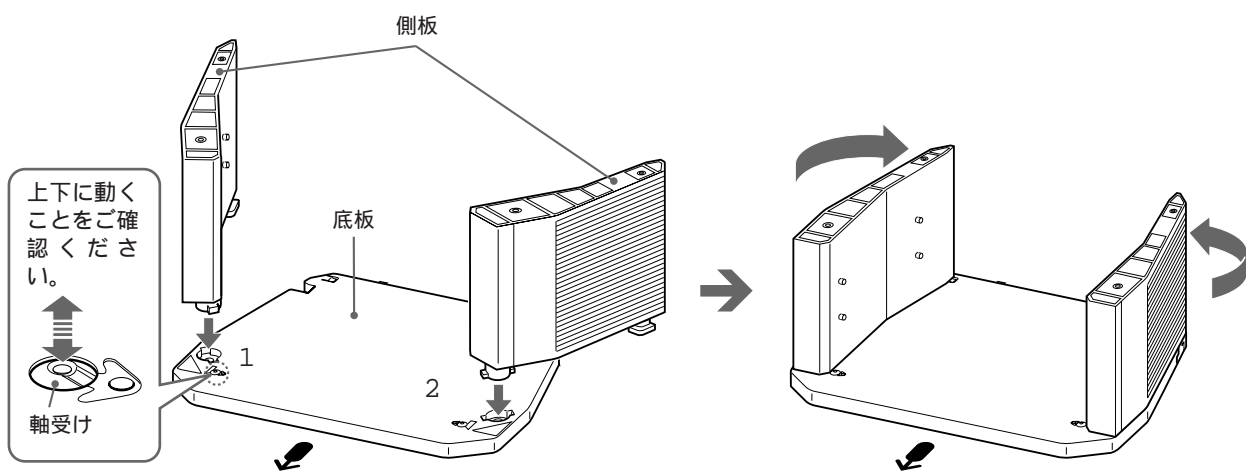
ガラス扉 右 (1枚)

組み立て手順

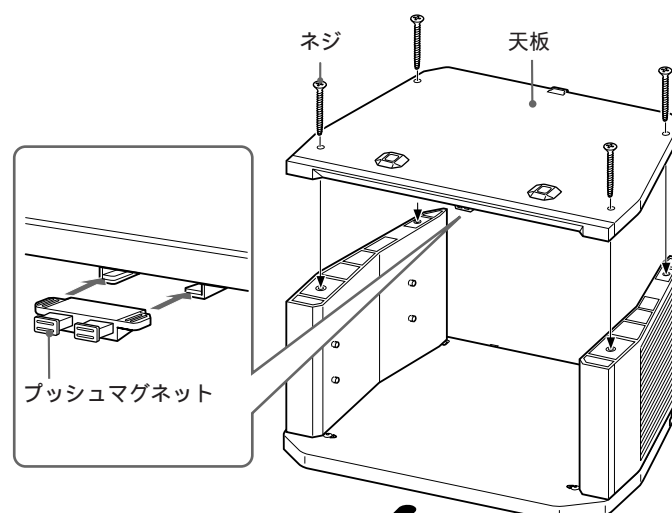
← 矢印は前面方向を示します。

1 底板に側板を取り付ける。

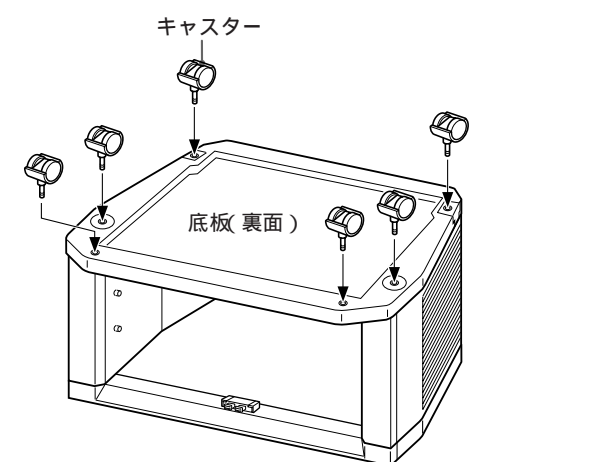
- 1 はじめにガラス扉の軸受けが上下に動くことをご確認ください。
- 2 支柱を底板の凹みに合わせ、カチッと音がするまで中心に向かって回転させながら押します。



2 天板を取り付け、プッシュマグネットを天板に取り付ける。

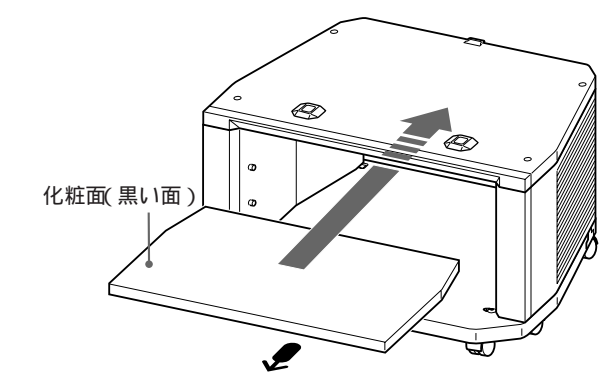


3 キャスターを取り付ける。



4 棚板を取り付ける。

棚板はガラス扉を取り付ける前に、取り付けてください。

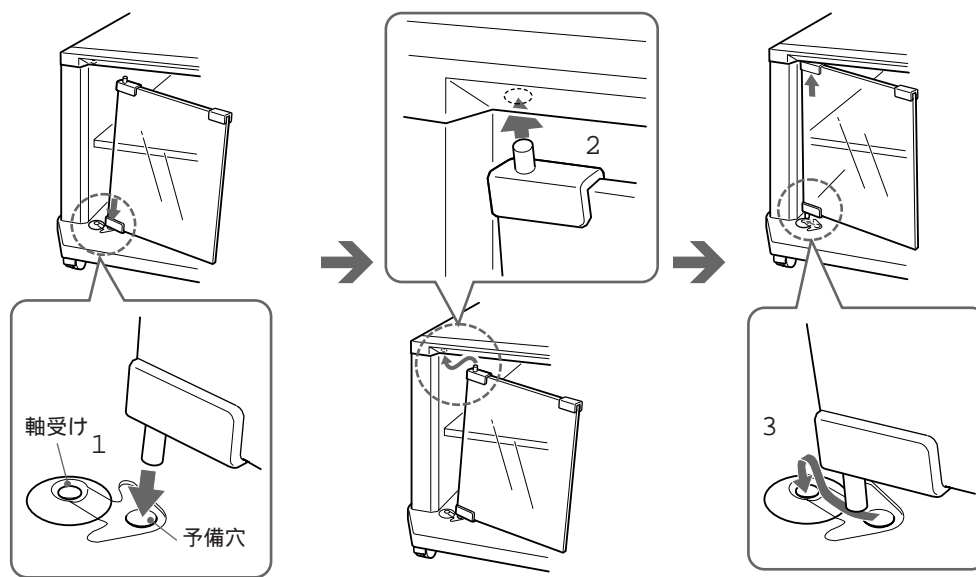


ご注意

- 棚板をはずすときは、ガラス扉をいったんはずしてから行ってください。

5 ガラス扉を取り付ける。

- 1 ガラスヒンジを予備穴に差し込む。
- 2 ガラスヒンジを天板の穴に差し込む。
- 3 溝に沿って軸受け方向にずらし、軸受けに差し込む。



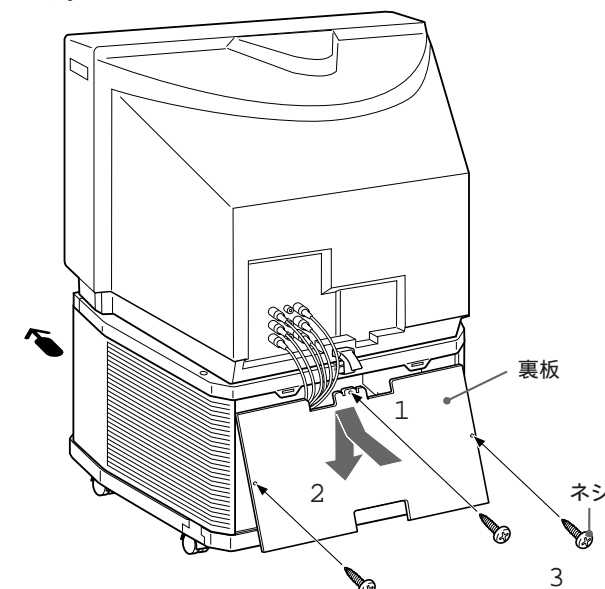
6 裏板を取り付ける。

お手持ちのビデオデッキなどを入れて、テレビと接続してください。接続が終わったら、裏板を取り付けます。

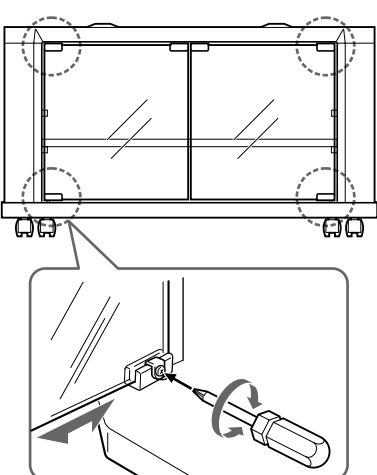
- 1 天板の溝に差し込む。
- 2 底板の溝に差し込む。
- 3 ネジで留める。

ご注意

- 必ず裏板をネジで留めた状態でお使いください。



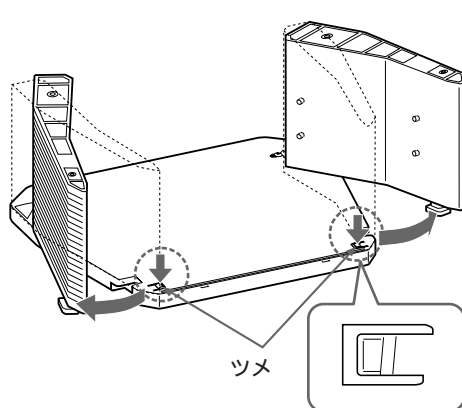
ガラス扉の位置を調整するには



テレビスタンドを組み立てたあと、ガラス扉の位置が正しくない場合は、ヒンジのネジをゆるめて調整してください。

側板のはずしかた

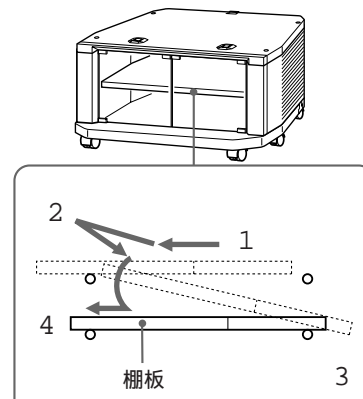
キャスターをはずしたあと、底板のツメの部分を押さえたまま、側板を回転させながら外側へ押ししてください。



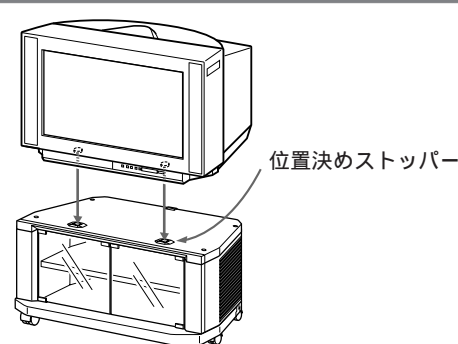
棚板の位置を調整するには

棚板の位置の調整はガラス扉を取り付けたあとでもできます。

- 1 棚板を引く。
- 2 棚板の奥を下ろす。
- 3 棚板を奥へ押す。
- 4 棚板を手前へ引いて位置を合わせる。



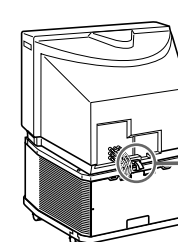
テレビの置きかた



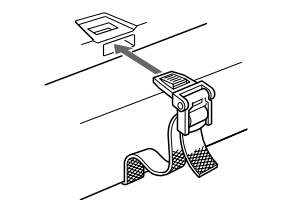
- テレビの足が位置決めストッパーの穴に入るように正しく載せ、ストッパーの上のり上げていないか、確認してください。
- テレビを載せるときは、ガラス扉にテレビが当たらないようご注意ください。

転倒防止について

このテレビスタンドには、テレビの転倒を防ぐために固定用ベルトが付いています。テレビを載せたら、必ず固定用ベルトのバックルを差し込んでください。バックルを差し込んだら抜けないかどうか確認してください。



- 1 バックルを差し込む。カチッと音がするまで入れてください。



- 2 ベルトを引く。